

Post コロナにおける薬局のあり方

次世代薬局研究会2025、日本コミュニティファーマシー協会、保険薬局経営者連合会の3団体は、昨年9月、「薬局が薬物療法と地域のヘルスケアを担うインフラとして貢献する」との理念を共有し、その実現に向けて薬局団体連絡協議会のもとに結集し、「第1回国民のための薬局のあり方シンポジウム」を開催しました。

第2回目のシンポジウムでは、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、「Post コロナにおける薬局のあり方」を追究します。コロナ禍を教訓に真に患者、地域生活者から信頼される薬局像を探ります。今回は、新たに地域医療薬学研究会が加わり、4団体の共催となります。「私たちは変わる！」をモットーに共に行動しましょう。皆様方のご理解、ご協力をお願いいたします。

会費 3,000円 **申込締切** 10月14日(水)

会場 Zoomによるオンライン配信(会場の聴講はございません。)

発信場所 TKP 東京駅カンファレンスセンター

詳細&お申込みはこちらから▼

<https://www.yakudanren.org/symposium>



QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

総合司会：一般社団法人 保険薬局経営者連合会 理事 **矢野 良太郎**

開会 13:00～

大会長挨拶・趣旨説明

一般社団法人 日本コミュニティファーマシー協会 代表 **吉岡 ゆうこ**

各団体からの提言 13:10～

一般社団法人 次世代薬局研究会2025 代表 **藤田 道男**

一般社団法人 日本コミュニティファーマシー協会 理事 **篠原 久仁子**

一般社団法人 保険薬局経営者連合会 代表 **山村 真一**

新規加入団体からの提言 13:55～

一般社団法人 地域医療薬学研究会 代表 **鈴木 順子**

賛同団体からの提言 14:00～

一般社団法人 薬局支援協会 代表 **竹中 孝行**

休憩

基調講演① 14:15～

「コロナが与えた教訓」～流通の課題と薬局～

株式会社 ドラビズ on-line 編集長 **菅原 幸子**

基調講演② 14:45～

「コロナ禍であらためて考える薬局の役割」～令和2年度調剤報酬改定を踏まえて～

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 執行役員 **田宮 憲一**

休憩

シンポジウム 15:25～ モデレーター：一般社団法人 日本コミュニティファーマシー協会 代表 **吉岡 ゆうこ**

『Post コロナにおける薬局のあり方とは』

一般社団法人 次世代薬局研究会2025 代表 **藤田 道男**

一般社団法人 保険薬局経営者連合会 代表 **山村 真一**

一般社団法人 地域医療薬学研究会 代表 **鈴木 順子**

株式会社 ドラビズ on-line 編集長 **菅原 幸子**

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 執行役員 **田宮 憲一**

※新型コロナウイルスの感染状況により、内容が変更になる場合がございます。ご了承ください。

閉会挨拶 16:25～

一般社団法人 次世代薬局研究会2025 代表 **藤田 道男**

▶ 薬剤師あゆみの会 (G03) の認定研修受講シール1単位 (互換性あり) を申請できます。

主催  **薬局団体連絡協議会**

事務局 (一般社団法人 保険薬局経営者連合会 内)

〒216-0007 神奈川県川崎市宮前区小台 2-4-5-401

TEL 044-712-5881 FAX 044-330-1772

一般社団法人

次世代薬局研究会 2025

一般社団法人

日本コミュニティファーマシー協会

一般社団法人

保険薬局経営者連合会

一般社団法人

地域医療薬学研究会